

編集後記 しっずかな湖畔のカッコウの声

表紙の写真は先日訪れた山梨県山中湖の湖畔。

朝の湖畔は静かで、思わず、あの輪唱が頭を過ぎります。

♪しっずかな湖畔の森のかげから もう起きちゃいかがと カッコウが鳴く♪ (作詞者不詳)

なーんて能天気な僕。でもこんな何もない平和が一番。(^o^)

んーでも考えてみれば、「もう起きちゃいかが」とは、少しお節介なカッコウかもしれませんね。(+_+)



厚生労働省は、「労働基準関係法令違反に係る公表事案」として法令違反した企業名の公表を始めました。

この5月に厚労省のホームページに公表されたのは、2016年10月1日以降に労働基準関係法令

に違反した334件。大企業から労働者数名の零細企業まで規模も業種も様々です。

今までは労働基準監督署は、違反があれば直接、指導もしくは勧告を行い、企業側に是正を

求めてきましたが、その中で「悪質」と判断されれば、直接の指導に止まらず、

違反企業は毎月定期的に同省ホームページ上に「晒して」いくとのこと。(-_-;)



さらに5月18日の日本経済新聞によると、厚生労働省は次の矢を放つようです。

2020年を目途に大企業(従業員数301人以上の企業)に対し、従業員の残業時間の公表を義務付けることを発表しました。(当面、従業員300人以下の中小企業については「努力義務」にとどめる方向です。)

対象企業は月当たりの平均残業時間を年1回企業のホームページか厚労省のサイトで

開示するよう求められ、従わなければ処分を受けることになります。

残業時間を公表することで、企業の労働実態を外部から見えやすくし、企業が時間外労働を減らす新たな動機づけになると厚労省は目論んでいます。



政府は「働き方改革」を看板政策と位置づけていますが、このところの一連の施策は、企業にとっては間違いなく労働管理の負担を増やすことになります。

企業が自ら「働き方改革」を進めていかなければ、天の聲に振り回されて後手に回ってしまいます。

爽やかな湖畔の朝。まどろむベッドで聞く「カッコウ」の爽やかな声も聞く人によっては、

誰も起こしてって頼んでないよー。疲れているんだから、ほっといてよーって感じるかもしれません。

それは、私たちの心の余裕次第かもしれませんね。



総務や経理といった非生産部門は、裏方としてちゃんとやって当たり前と見られがちでしたが、

今の時代の総務部はこれまでにない大きな役割を担っているように思います。

営業や現場で働く皆さんも、どうかこのご時世と総務の労務担当の方にご理解をお願いします。

さて、秋篠宮家の長女・秋篠宮眞子さまが、大学時代の同級生との婚約に向けた準備を進めていることが明らかになり、お祝いムードの報道が過熱してきています。

大変喜ばしい、おめでたいことではあるのですが、若い2人をカメラが追いかけて回すのは、あまり度が過ぎないように願っています。

風情のあるカッコウの声も、煩すぎると台無しです。

それにしても、眞子さまのお相手。

ICUの同級生で「湘南江の島 海の王子」とは、カッコウいいですね。^^

・・・おあとがよろしいようで。m(_)_m

